

環境振動企画 WG 第4回議事録（案）

- A. 日 時 2021年7月29日 木曜日 17:30～19:30
- B. 場 所 Teams
- C. 出席者 主査他、9名
- D. 提出資料
 - No.1 前回議事録案
 - No.2 環境振動シンポジウム企画たたき台
 - No.3 AIに関する資料

E. 議事内容

1. 前回議事録案の確認（資料 No.1）
承認された。
2. プログラム案について
鈴木主査より資料（No.2）及び原田様から提出された資料（No.3）の説明があった。
 - ・7題の講演案の説明があった。
 - ・原田様から大成建設の資料については、大成建設から内容を紹介していただけるとのお話をいただいている。内容的には、大林組の方が環境振動には近いかもしれません。

以下のような意見があった。

- ・④について、設計小委員会では、最近では機器側で制御するケースが多く、構造設計者としては嫌振機器への対応はしておらず、最新の話提供は難しいとの意見である。
- ・⑤は、横山先生に木質構造全般についてご発表いただくのが良いのではないか。
- ・⑥は、大林組のAMDが環境振動関連で良いのではないか。
- ・③⑥が同じような内容になっている気がする。
- ・バラバラの内容が数多く並んでいてまとまりがない気がする。
- ・軸をつくらうとすると、新しい時代。キーワードは、デジタル、コロナ、脱炭素ではないか。
- ・1項目は、1題に絞った方が良いのではないか。これまでの測定、評価と、トピックで分けられるのではないか。
- ・設計の小委員会では、AI風予測について大成建設さんをお願いすることで決まっている。
- ・②の計測ネットワークの話は、東大地震研の鷹野先生ではないか。
- ・東大の長山先生は無線が中心の話になる。
- ・③④を抜いてはどうか。そうするとすっきりまとまるように思う。
- ・⑥のタイトルを、設計や振動制御へのAIの活用状況にしてはどうか。
- ・全てをまとめたディスカッションは難しい。各テーマ毎の質疑、ディスカッションのほうが良いのではないか。
- ・計測とAIは2題ずつでも良いと思う。

議論の結果、以下のような案になった。

◎は内諾済

① 主旨説明

- ② 計測技術の今・これから 東大地震研 鷹野先生, 東大土木 長山先生
- ③ 設計や振動制御への AI の活用 ◎大成建設, 大林組
- ④ 木質系建築物における環境振動 横山先生
- ⑤ ステイホームにおける居住者反応 富田
- ⑥ まとめ

東大地震研 鷹野先生への依頼 → 濱本委員, 国松委員

東大土木 長山先生への依頼 → 松本委員

大林組への依頼 → 評価小委員会 富田

大成建設の確認 → 原田委員

タイトル：これからのくらしと環境振動

次回：未定（話題提供をお願いする方々が固まった段階で集まって、内容や全体の流れをすりあわせる会議を行います）※ スケジュールは別途調整

以上